



ストレージ

- [ストレージアレイ \(1 ページ\)](#)
- [ストレージ SMI-S プロバイダー \(3 ページ\)](#)

ストレージアレイ

このタブには、ストレージアレイに関する情報が表示されます。

次の表では、[SAN]>[ストレージ (Storage)]>[ストレージアレイ (Storage Arrays)]に表示されるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
storageName	ストレージ名を指定します。 [storageName] をクリックして、[ストレージエンクロージャ (Storage Enclosure)] の詳細を表示します。表示されるタブの詳細については、「 storageName エンクロージャ (1 ページ) 」を参照してください。
WWN	スイッチの World Wide Name (WWN) を指定します。 ファブリック検出によって検出されたストレージアレイの PWWN のみが表示されます。ただし、ストレージアレイには、ここで指定されているよりも多くのポートがある場合があります。

storageName エンクロージャ

[storageName] アイテムをクリックして、各ストレージアレイに関する詳細情報を表示します。

ストレージアレイの詳細は、検出されたアレイのタイプと、プロバイダーが SMI-S 標準に準拠しているかどうかによって異なります。アレイをクリックして、概要タブから始まるインベントリページ、およびアレイのタイプに基づいた他のコンテキスト固有のタブを読み込みます。

以下のドキュメントには、追加の関連情報が記載されています。

- **概要**

この表は、プロバイダーに関する情報を提供します。ストレージアレイのシリアル番号、ストレージタイプ、およびアレイ内の物理ディスクの数も表示されます。

- **コンポーネント**

このタブには、ストレージ内のすべてのコンポーネントが一覧表示されます。

コンポーネントの名前をクリックして、合計ストレージ容量、使用状況の詳細、および物理ディスクの詳細を表示します。

- **プール**

このタブには、すべてのプール、そのステータス、およびRaw容量が一覧表示されます。[プール名 (POOL Name)] をクリックして、プールの詳細を表示します。

- **LUN**

このタブには、ストレージアレイ内のすべてのLUNが一覧表示されます。各LUNのLUN ID、WWN、ステータス、および容量の詳細を提供します。[LUN名 (LUN Name)] をクリックして、各LUNの詳細を表示します。[LUNの詳細 (LUN Detail)] ビューで[ホストLUNアクセス (Host LUN Access)] 情報を表示することもできます。

ホストLUNアクセステーブルのホストポートPWWN、ホストインターフェイス、ゾーニング、およびストレージインターフェイスの値は、このLUNにアクセスするホストがNDFCで検出されたファブリックの一部である場合にのみ表示されます。

- **ホスト**

このタブには、選択したストレージ内のすべてのホストが一覧表示されます。これは、ストレージアレイ内の各ホストのホスト名、ノードWWN、およびWWNの詳細を提供します。[ホスト名 (Host Name)] をクリックして、ホストに関する詳細を表示します。[ホストの詳細 (Host Detail)] ビュー内の[LUN] タブと[ポート (Ports)] タブで、関連する詳細を表示できます。

LUN タブ > ホストLUNアクセス テーブルのホストインターフェイス、ゾーン分割、およびストレージインターフェイスの値は、このLUNにアクセスするホストがNDFCで検出されたファブリックの一部である場合にのみ表示されます。

ホストポートテーブルのファブリックとホストインターフェイスの値は、ホストポートWWNがNDFCで検出されたファブリックの一部である場合にのみ表示されます。

- **プロセッサ**

このタブには、すべてのプロセッサとそのステータスが一覧表示されます。各プロセッサのアダプタの数も表示されます。詳細を表示するには、[プロセッサ名 (Processor Name)] をクリックします。

- **ポート**

このタブには、ストレージレイ内のすべてのポートが一覧表示されます。ポートの詳細を表示するには、**ポート名**をクリックします。

ホスト LUN アクセステーブルのホストインターフェイス、ゾーン分割、およびストレージインターフェイスの値は、**LUN ID** 列の LUN にアクセスするホストが NDFC で検出されたファブリックの一部である場合にのみ表示されます。

ストレージ SMI-S プロバイダー

このタブには、SMI-S プロバイダーの情報が表示されます。

次の表では、[SAN]>[ストレージ (Storage)]>[ストレージ SMIS プロバイダー (Storage SMIS Provider)] に表示されるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
ベンダー	ベンダーを指定します。 Cisco NDFC は、次のベンダーをサポートしています。 <ul style="list-style-type: none"> • EMC • NetApp • IBM • HDS • PureStorage • HP • その他
プロバイダーの URL	SMI-S プロバイダーの URL を指定します。
名前空間	名前空間を指定します。
相互運用名前空間	相互運用名前空間を指定します。
[ポート (Port)]	ポートを指定します。
ステータス	ステータスを指定します。
セキュア	安全な接続かどうかを指定します。
検出ステータス	検出ステータスを指定します。
最終更新時刻	最後に更新された日時を示します。

次の表で、**SAN**>[ストレージ (Storage)]>[ストレージ SMIS プロバイダー (Storage SMIS Provider)]で表示される[アクション (Actions)]メニュードロップダウンリストのアクション項目について説明します。

アクション項目	説明
プロバイダの追加	SMI-S プロバイダーを追加します。手順については、「 SMI-S プロバイダーの追加 (4 ページ) 」。
プロバイダの編集	テーブルからプロバイダーを選択し、[プロバイダーの編集 (Edit Provider)]を選択してプロバイダー情報を更新します。
プロバイダーの削除	テーブルからプロバイダーを選択し、[プロバイダーの削除 (Delete Provider)]を選択してプロバイダーを削除します。
プロバイダーの再検出	テーブルからプロバイダーを選択し、[プロバイダーの再検出 (Rediscover Provider)]を選択して変更をスキャンします。これにより、通常の定期的なポーリング以外で検出サイクルがトリガーされます。
プロバイダーの消去	テーブルからプロバイダーを選択し、[プロバイダーの消去 (Purge Provider)]を選択してプロバイダー情報を消去します。これにより、存在しなくなった要素が検出から削除されます。

SMI-S プロバイダーの追加

Cisco Nexusダッシュボードファブリックコントローラ Web UI から SMI-S プロバイダーを追加するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [SAN]>[ストレージ (Storage)]>[ストレージ SMIS プロバイダー (Storage SMIS Provider)]を選択します。

[ストレージ SMIS プロバイダー (Storage SMIS Provider)] タブが表示されます。

ステップ 2 [アクション (Actions)]メニューのドロップダウンリストをクリックし、[**プロバイダーの追加 (Add Provider)**]をクリックします。

[SMI-S の追加 (Add SMI-S)] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 ドロップダウンを使用して **[ベンダー (Vendor)]** を選択します。

サポートされているすべてのベンダーがドロップダウンリストに表示されます。ドロップダウンの **[その他 (Other)]** のベンダーオプションを使用して、「ベストエフォート」ハンドラーを通じて、より多くの SMI-S ストレージベンダーが検出されます。

(注) SMI-S ストレージ検出用のデータソースを追加する前に、少なくとも 1 つの有効な Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ ライセンスをプロビジョニングする必要があります。

ステップ4 SMI-S サーバーの IP、ユーザー名、およびパスワードを指定します。

ステップ5 名前空間と相互運用名前空間を指定します。

ステップ6 デフォルトでは、ポート番号は事前に入力されています。

[セキュア (Secure)] チェックボックスをオンにすると、デフォルトのセキュアポート番号が入力されます。

EMC でセキュアモードを使用する場合、デフォルト設定は相互認証です。詳細については、トラストストアへの SSL 証明書の追加に関する EMC のドキュメントを参照してください。また、*Security_Settings.xml* 構成ファイルで `SSLClientAuthentication` 値を *None* に設定し、ECOM サービスを再起動することもできます。

ステップ7 **[Add]** をクリックします。

ログイン情報が検証され、ログイン情報が有効な場合はストレージの検出が開始されます。ログイン情報チェックに失敗した場合は、有効なログイン情報を入力するように求められます。

